

平家物語『祇園精舎』定期テスト対策問題（問題編）

組 番 氏 名

／100点

本文

祇園精舎の鐘の声、諸行無常〔①〕の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰〔②〕のことわりをあらはす。おごれる人も久しからず〔③〕、ただ春の夜の夢のごとし〔④〕。たけき者もつひにはほろびぬ〔⑤〕、ひとへに風の前の塵に同じ〔⑥〕。

遠く異朝をとぶらへば〔⑦〕、秦の趙高、漢の王莽、梁の朱异、唐の禄山、これらは皆旧主先皇の政にもしたがはず〔⑧〕、楽しみをきはめ、諫めをも思ひ入れず〔⑨〕、天下の乱れんことを悟らずして、民間の愁ふるところを知らざつしかば〔⑩〕、久しからずして、亡じにし者どもなり。

近く本朝をうかがふに〔⑪〕、承平の将門、天慶の純友、康和の義親、平治の信頼、これらはおごれる心もたけきことも、皆とりどりにこそありしかども、まちかくは〔⑫〕六波羅の入道、前太政大臣平朝臣清盛公と申しし人のありさま、伝へ承るこそ、心もことばも及ばれね〔⑬〕。

設問

1. 現代語訳

- 傍線部③「おごれる人も久しからず」を現代語訳しなさい。
- 傍線部④「春の夜の夢のごとし」とはどのような意味か、現代語訳しなさい。
- 傍線部⑬「伝へ承るこそ、心もことばも及ばれね」を現代語訳しなさい。

2. 文法・敬語

- 傍線部⑤「つひにはほろびぬ」の「ぬ」の文法的意味（助動詞の種類と意味）を答えなさい。
- 傍線部⑬「及ばれね」について、「れ」「ね」の助動詞の意味（種類）をそれぞれ答えなさい。
- 傍線部⑬で、「こそ……及ばれね」と文末が「ね」となっているのはなぜか。文法的に説明しなさい。

3. 語句

- 傍線部⑦「とぶらへ（とぶらふ）」の、ここでの意味を答えなさい。
- 傍線部①「諸行無常」、傍線部②「盛者必衰」の読み方をそれぞれ平仮名で答えなさい。
- 傍線部⑩「愁ふる」の意味を答えなさい。

4. 内容理解

10. 傍線部⑥「風の前の塵に同じ」は、何が何に「同じ」だと言っているのか。たとえている内容を説明しなさい。

11. 傍線部⑦「遠く異朝をとぶらへば」、傍線部⑪「近く本朝をうかがふに」とあるが、「異朝」「本朝」はそれぞれどこ（どの国）を指すか答えなさい。

12. この文章で、趙高・王莽や将門・純友などの人物の例が挙げられているのはなぜか。本文全体の主題と関係づけて説明しなさい。

5. 文学史

13. 『平家物語』のジャンル（物語の種類）を漢字で答えなさい。また、この作品を琵琶を弾きながら語り広めた、目の不自由な芸能者を何と呼ぶか答えなさい。

14. 『平家物語』の作者について、『徒然草』が伝える一説では誰とされているか答えなさい。また、本文の冒頭に表れている、この作品全体を貫く思想（仏教的な考え方）を漢字四字で答えなさい。

暗記（空所補充）

15. 次の冒頭文の空欄（ ア ）～（ エ ）に入る語句を答えなさい。

「祇園精舎の鐘の声、（ ア ）の響きあり。沙羅双樹の花の色、（ イ ）のことわりをあらはす。おごれる人も久しからず、ただ（ ウ ）のごとし。たけき者もつひにはほろびぬ、ひとへに（ エ ）に同じ。」